

授 業 科目名	【 G 】	情報基礎(社会と情報)	区 分		開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	情報基礎(社会と情報)	その他参照			【 H 】 1		【 H 】 2
科目区分	基本科目:【G・H】教科及び教科の指導法に関する科目(一・一・一・情報)							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独	【 G 】 教員の免許状取得のための (一・一・一・情報選択)科目						
		【 H 】 教員の免許状取得のための (一・一・一・情報選択)科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項:「情報と職業」(高一種免情報)							
サブ タイトル	情報社会の構成要素を知る					担当者	渡邊 萩尾	
授業概要	【概要】	情報社会に身を置いているわたしたちは様々な技術を当たり前のもので受け止め、それらを活用して過ごしています。普段はあまり意識せずに暮らしている現代という情報社会について、その構成要素を概観していくのがこの講義です。						
	【到達目標】	わたしたちを取り巻く社会と情報通信技術がどのように関わっているのかを理解し、説明できるようになることを目標とします。						
履修条件	特になし。							
アクティブ ラーニングの 方法	【 ー 】	事前学習型	【 ー 】	反転授業	【 ー 】	調査学習	【 ー 】	フィールドワーク
	【 ー 】	双方向アンケート	【 ー 】	グループワーク	【 ー 】	対話・議論型授業	【 ー 】	ロールプレイ
	【 ー 】	プレゼンテーション	【 ー 】	模擬授業	【 ー 】	PBL	【 ー 】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		ー (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		ー (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		ー (当てはまらない)					
他科目との 関連性	「情報基礎(情報の科学)」も併せて受講すると理解がより深まります。							
教科書	授業中に適宜資料を提供します。							
参考書	授業中に適宜紹介します。							
評価方法	学習到達度(80%)、授業への参加態度(20%)で評価します。							
フィードバック 方法	試験の解説を授業内に行います。授業内に時間が取れなかったときには Google Classroom に掲載します。							
評価基準	授業内容についてよく理解していると思なせた者にはその程度に応じてSまたはA、一部不十分な箇所がある者についてはBまたはCとします。授業内容への理解自体が不十分な者については、その程度に応じてDまたはEとします。全欠席など評価不能の場合にはFとします。							

授 業	【 G 】	情報基礎（社会と情報）	区 分	開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
科目名	【 H 】	情報基礎（社会と情報）	その他参照		【 H 】 1		【 H 】 2
授業回数	授業内容						
1	各種の単位、各種ハードウェアの名称と役割						
	予習：	情報通信機器の名称と使用単位を調べる(90分程度)		復習：	名称を再確認し、単位を覚える(90分程度)		
2	情報通信の仕組み						
	予習：	インターネットの成り立ちについて調べる(90分程度)		復習：	インターネットを支える技術を確認する(90分程度)		
3	文字・映像・音声の取り扱い						
	予習：	インターネットで流れるデータの量を調べる(90分程度)		復習：	数値以外の情報の表現についてまとめる(90分程度)		
4	商工業と情報						
	予習：	信頼できる情報とは何かについてまとめる(90分程度)		復習：	工業生産・商取引での利用について確認する(90分程度)		
5	経営と情報						
	予習：	企業経営・組織運営に重要な事項を調べる(90分程度)		復習：	経営での利用について確認する(90分程度)		
6	インターネットによるコミュニケーション (1) 特定の相手とのコミュニケーション						
	予習：	普段利用するコミュニケーション手段を確認する(60分程度)		復習：	メールやメッセージの仕組みを確認する(120分程度)		
7	インターネットによるコミュニケーション (2) 不特定多数とのコミュニケーション						
	予習：	普段利用するコミュニケーション手段を確認する(60分程度)		復習：	インターネット以前との比較をまとめる(120分程度)		
8	情報の共有と検索						
	予習：	インターネットで入手できる情報をまとめる(90分程度)		復習：	情報を公開することの利点と欠点をまとめる(90分程度)		
9	社会基盤と情報						
	予習：	公共性の高いサービスを調べる(90分程度)		復習：	社会基盤への情報通信技術の応用をまとめる(90分程度)		
10	不正行為と情報セキュリティ(1) 人的・社会的要素						
	予習：	報道された情報セキュリティ事故をまとめる(90分程度)		復習：	セキュリティでの人的・社会的要素を確認する(90分程度)		
11	不正行為と情報セキュリティ(2) 技術的要素						
	予習：	情報セキュリティの脅威となるものを調べる(90分程度)		復習：	セキュリティでの技術的要素を確認する(90分程度)		
12	大規模なデータの活用						
	予習：	社会に蓄積されているデータについて調べる(90分程度)		復習：	大規模データ活用の今後についてまとめる(90分程度)		
13	情報社会における信頼と倫理						
	予習：	信頼できる情報とは何かについてまとめる(90分程度)		復習：	情報社会の信頼への脅威についてまとめる(90分程度)		
14	情報通信技術の発展に伴う社会の変化						
	予習：	情報通信技術発展の歴史をまとめる(90分程度)		復習：	今後の社会変化を予想しまとめる(90分程度)		
15	フリーソフトウェア、オープンソース、自由な社会, 学習到達度の確認						
	予習：	ソフトウェアの価値について考える(90分程度)		復習：	社会とフリーソフトウェアの関連をまとめる(90分程度)		
その他	特になし。						
	※Gカリ:法【選択必修修(オ)】スポ【選択必修修(オ)】情【必修修(○い)】						